

■ 編集委員

池淵 研二（委員長）

小林 国彦 小山 勇 篠塚 望 菅澤 正 名越 澄子 仁科 正実 町田 早苗
松下 祥 渡辺 修一 Chad L Godfrey (五十音順)

■ 編集後記

編集後記を何度か書かせていただいているが、一番難しいのは、書いている現在の事柄が発刊時には数か月過去の話題になってしまふこと。例えば私の中で大きな話題は、英國がEUから撤退したこと、稀勢の里が優勝決定戦に持ち込めず横綱昇進は次の場所の成績次第と延期になった話。東京都知事選挙が1週間後に迫っていること。リオデジジャネイロで開催される夏のオリンピックに毎日のように日本選手団が出発しており金メダルが多数獲得できそうな予感があること、ロシア選手団がドーピングで全員参加させないと決定が出されるかと思つきや政治的な解決に移行してしまったこと、など。

さてまさに話題が豊富な近頃ですが、先週末、公園や駅前に人が集まりポケモンゲームにはまつた人たちがスマホ歩きを開始しました。やや古い人間の私、少々考えが偏り固まっていますが、今の事態を結構冷やかに観察してしまっています。東武東上線と越生線に乗って通勤する間、学生、成人が圧倒的にスマホゲームに熱中しています。新聞を広げて読む姿は殆ど見ません。新聞を広げる習慣はほぼなくなっているかも知れません。同様に文庫本を広げ悦に浸っている乗客も少なくなっています。

そんな中、一人、電車の中で埼玉医大雑誌を堂々と広げ、中身を読み感動しています。多数の学内グラント受賞者の成果発表が並んでおり、テーマは多彩で分からぬ領域も多いですが、熱心に地道に研究活動を進めている研究者がキャンパスにいることが分かります。こんな埼玉医大がもっと有名になって欲しいと期待してしまう近頃です。

実は研究活動に加えて、実業団野球チームと駅伝チームが発足するニュース、私の中では結構大きな出来事です。実は正月にテレビにくぎ付けになる箱根駅伝、その中を埼玉医大のゼッケンを着けたチームが走る姿を時々夢見たことがあります。大学駅伝は強豪、古豪が多く競り合うのはとても難しいでしょうが、実業団チームには可能性がゼロとは言えません。是非是非、今後の活躍を期待し、埼玉医大の名をアピールしていただきたいと願っています。

さて今回の号で報告しておかなければならぬことがあります。それは埼玉医大雑誌をずっと43年間支えてきていただいた制作会社のアテネデザイン社ですが、苦渋の決断だと聞いていますが、今回の号で最後の支援となってしまうことです。私は44年前に大学に入学した世代、それとほぼ同じく発刊がスタートしている埼玉医大雑誌。この間、埼玉医大にも医学界にも実にさまざまな変貌がありました。一貫して埼玉医大雑誌の編集・印刷・発刊に尽力いただいたアテネデザイン社には感謝しても感謝し尽せない気持ちです。ありがとうございました。

(池淵 研二)

埼玉医科大学雑誌

<http://www.saitama-med.ac.jp/jsms/>

第43巻 第1号

編集責任者

池淵 研二

平成28年8月15日 印刷

発行所

埼玉医科大学 医学会

平成28年8月31日 発行

350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話 049(276)2102/2030(直通) FAX 049(276)1964 E-mail: igakkai@saitama-med.ac.jp

郵便振替 00540-6-19727

制作

株式会社アテネデザイン

東京都港区三田1-11-19 小宮ビル2階 電話 03(3456)5741(代) <http://www.atene.co.jp>